

G 7 茨城・つくば科学技術大臣会合について

政策統括官（科学技術・イノベーション担当） 付

1. G7 茨城・つくば科学技術大臣会合の概要

日 時：2016 年 5 月 15 日～17 日

場 所：つくば国際会議場

出 席 者：G7 各国・EU 閣僚等

議 題：「グローバルヘルス」、「女性の参画拡大・次代の人材育成」、「海洋の未来」、
「クリーンエネルギー」、「インクルーシブ・イノベーション」、「オープンサイエンス」

成果文書：「つくばコミュニケ」

2. 「つくばコミュニケ」の具体的なアクションの要点

- ① 「グローバルヘルス」：
高齢社会におけるアクティブ・エイジングの促進。顧みられない熱帯病等（NTDs/PRDs）における研究開発の促進。
- ② 「女性の参画拡大・次代の人材育成」：
科学技術イノベーション分野における女性の活躍及び次世代のグローバルリーダーの人材育成を推進。
- ③ 「海洋の未来」：
科学的知見に基づく海洋の管理と保全、持続可能な海洋利用に向けて、国際協力を強化。海洋ごみについては、科学的活動の展開により、G7 富山環境大臣会合へ貢献。
- ④ 「クリーンエネルギー」：
G 7 北九州エネルギー大臣会合の議論を受け、2050 年を見据えた革新的技術の開発等を促進。
- ⑤ 「インクルーシブ・イノベーション」：
発展途上国への貢献、経済成長と格差のない社会の両立を目指した国際科学技術協力を促進。特に、自然災害に関して、議長である島尻前大臣から緊急提案し、科学的・技術的知見を活用し、災害リスクの軽減、防災など国際協力を促進。
- ⑥ 「オープンサイエンス」：
オープンサイエンスを効率的に推進し、適切に活用していくために、国際機関との連携を念頭に国際ルールづくり等を検討するワーキンググループを設置。